

～作文をご指導される先生方へ～

## 「なぜ生命保険がテーマなの？」と

お考えの先生方に、少しお話をさせてください



生命保険というテーマは決して難しいものではありません。生命保険は私たちのくらしのさまざまな局面で密接に関わっている身近な商品です。

保険金や給付金を受け取ったことのあるご家庭は、その時経験したことを書くことが出来るでしょうし、そのような経験がなくてもいろいろな書き方が考えられます。

たとえば、生命保険は多くの人が少しずつお金を出し合って、もし誰かが困ったときにはお金を渡す仕組みです。これは、他人とともに協調し、他人を思いやる心の大切さを提唱している文部科学省の“生きる力”にも通ずるものかと思われます。

また、将来を見据えて計画性を持って生活するということ考えた『わたしの将来と生命保険』『わが家の生活設計』など、さらに老後の生活や介護などの社会問題について考えた『高齢社会に備えて』、ちょっと難しいでしょうが、公的保障と社会保障の役割について考えた『社会保障制度と生命保険』など、いろいろなテーマが浮かんできます。

いずれにしても、生命保険について情報収集することから始まります。ご家族の方からお話を聞くことで、普段以上に触れ合う機会も生まれます。もちろん、図書館やパソコン等を利用して自分で調べることも大切です。そして、集めた情報を自分なりに考えて、まとめて一つの作品に仕上げる一連の作業、すなわち情報収集 → 思考 → 言語化により総合的な能力を身につけることが出来ます。これは、「読書感想文」や自由課題の「この夏の思い出」などのテーマでは得られない成果だと考えています。

このように、この作文に取り組むことによってさまざまな学習効果が期待できるものと思われます。

なお、副読本「生命保険って何だろう？」では、作文を書くための「ヒント」や「まとめ方」を分かりやすく解説しています。こちらは同封用紙にて無料でお取り寄せいただけますので、是非ご利用ください。

どうか生徒の皆さんへ、上手に書くことが目的ではなく、素直な思いをまとめることが大切だとお伝えいただき、ぜひ、チャレンジするようご案内いただければ幸いです。

情報収集

→  
家族や身近な方から、保険についての話を聞いたり、図書館やインターネットなどで情報を収集する。

思考

→  
情報を整理しながら自分自身と生命保険の関わり、生命保険の社会での役割について考える。

言語化

自分の感じたことや考えたことをまとめ、文章化し、ひとつの作品を完成させる

【作文完成までの流れ】